サージトロンは 4.0MHz を発振するラジオ波（RF=Radio Frequency）で、組織に対する高密度なエネルギーの集中性を実現。熱損傷を抑え、微細な切開・凝固を可能にします。

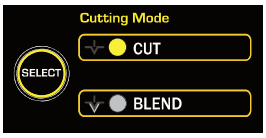
surgitron® | DUAL EMC

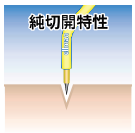
RF SURGICAL DEVICES
サージトロン　デュアルイーエムシー

サージトロン Dual EMC は、4.0MHz の周波数を用いた電気手術器です。4 種類のモノポーラモードを使い分けることで、様々な手技に応じた、微細な切れ味と焦げの少ない凝固を可能にします。
また、1.7MHz の周波数を用いたバイポーラモードは、より凝固に高いパフォーマンスを発揮します。

モノポーラ

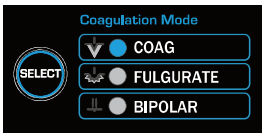
CUT（純切開）　4.0MHz　最大出力90W

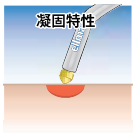




- 90%切開力　10%凝固力
- 金属メス刃と同様の切れ味
- 組織の熱損傷を低減
- 皮膚切開・バイオプシーも可能

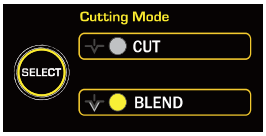
COAG（凝固）　4.0MHz　最大出力45W

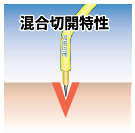




- 10%切開力　90%凝固力
- 組織を焦がさず確実なマイルド凝固
- 出血点を的確にとらえたピンポイント凝固

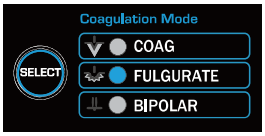
BLEND（混合切開）　4.0MHz　最大出力65W



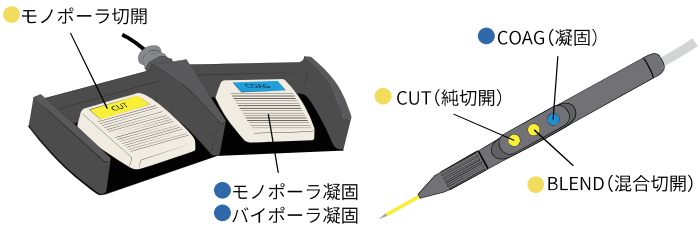


- 50%切開力　50%凝固力
- 組織の破壊を抑えて出血をコントロール

FULGURATE（乾燥・凝固）　4.0MHz　最大出力35W

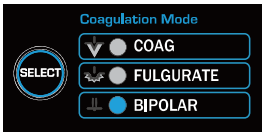


- 組織を瞬時に脱水・乾燥
- スパーク式通電による表在的・水平的な作用
- 炭化組織が絶縁層を形成し深層への熱影響を遮断



バイポーラ

BIPOLAR（凝固・切開）　1.7MHz　最大出力90W



- 出力の大小でバイポーラ特性を自在に適用
- マイクロ凝固からバイポーラ切開まで可能

! 6つの特徴

IEC国際安全基準を標準化

IEC/JISの規格試験に合格。自動回路チェックや、対極板接続の安全監視機能、エラー表示システムを搭載しているので、安心してご使用いただけます。

熱傷事故ゼロのリユーザブル対極板

アンテナ式対極板によってラジオ波が回収されるため、衣服の上から使用でき、熱傷の心配がありません。

モノポーラフォーセップも使用可能

サージトロンEMCでは使用できなかったモノポーラフォーセップの接続が可能です。この1本で、切開・剥離・凝固の操作を容易にし、電極を持ち替えることなくスムーズな施術ができます。穿通枝を摘んで通電すると血管に沿って流れるように作用し、バイポーラフォーセップによるピンポイント凝固よりも広い範囲の凝固が可能です。

バイポーラの片焼けを軽減

バイポーラフォーセップの先端で片焼けになるのを抑え、ラジオ波（RF）を両端の間の組織の間に集中させて微細でピンポイントな凝固を実現します。更に、このバイポーラ凝固の微細性は、バイポーラフォーセップによる切開操作も可能にします。

70種類以上の電極をラインアップ

モノポーラ電極と、バイポーラ電極を多数ご用意しております。症例や部位などに合わせた、細やかで柔軟な処置を可能にします。

フィンガースイッチとフットペダルで便利な4モード切替機能

3ツボタン式手元スイッチで切開・混合・凝固の3モードを切り替えて使い分けると共に、足元では適時フットスイッチを踏んでバイポーラ出力ができる4モード切替ができます。

※詳しくは、総合カタログをご覧ください。